三菱電機パッケージエアコン別売化粧パネル据付工事説

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行なってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
また、この据付工事説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行なう。
●据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

台風などの強風、地震に備え所定の据付工事を行なう。
●据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因となります。

据付けは、重量に充分に耐えるところに確実に行なう。
●強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより事故の原因になります

小部屋に据付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行なう。
●限界濃度を超えない対策については、販売店にご相談ください。万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカを使用する。
●電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
●接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。

室内外ユニットの端子盤カバー（パネル）を確実に取付ける。
●端子盤カバー（パネル）取付けに不備があると、ほこり・水等により、火災・感電の原因になります。

据付けや移設の場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒（R-22）以外のものを混入させない。
●空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。

加湿器、暖房用電気ヒータ、高性能フィルターなど別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。
●取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

改造は絶対にしない。
●修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
改造したり修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

お客様自身で移動・再据付けはしない。
●据付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

据付けをする前に

⚠注意

特殊環境には使用しない。
●油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所、海浜地区など塩分の多い場所、積雪により室外ユニットが塞がれるところに使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れの恐れがある場所へは据付けない。
●万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になることがあります。

精密機器・食品・動植物・美術品の保存等特殊用途には使用しない。
●食品の品質低下等の原因になることがあります。

濡れて困るものの上にユニットを据付けない。
●湿度が80%を越える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合もあります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンが垂れますので、必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。

病院、通信事業所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。
●インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になることがあります。

明書　〔PLP-J45,J80,J112,J160PXシリーズ〕

据付け（移設）工事をする前に

⚠注意

製品の運搬は充分注意して行なう。
●20kg以上の製品は原則として2人以上で行なってください。
PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手でフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

梱包材の処理は確実に行なう。
●梱包材には「クギ」等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとさし傷などのケガをする恐れがあります。

冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行なう。
●不完全な断熱施工を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないように保温すること。
●配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を漏らす原因になることがあります。

据付台等が傷んだ状態で放置しない。
●傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。

エアコンを水洗いしない。
●感電の原因になることがあります。

電気工事をする前に

⚠注意

設置場所（水気のある場所等）によっては漏電遮断器を取付ける。
●漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。

電源配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。
●漏電や発熱・火災の原因になることがあります。

電源配線は張力が掛からないように配線工事をする。
●断線したり、発熱・火災の原因になることがあります。

アース工事を行なう。
●アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

正しい容量のヒューズを使用する。
●大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因となることがあります。

試運転をする前に

⚠注意

運転を開始する12時間以上前に電源を入れる。
●電源を入れてすぐ運転開始すると、故障の原因になることがあります。
シーズン中は電源を切らないでください。

パネルやガードを外した状態で運転をしない。
●機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

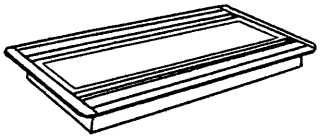
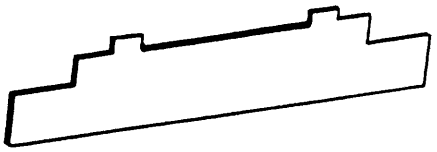
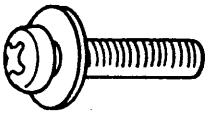
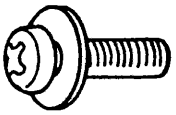
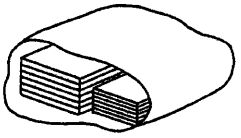
エアフィルタを外したまま運転をしない。
●内部にゴミが詰まり、故障の原因になることがあります。

濡れた手でスイッチを操作しない。
●感電の原因になることがあります。

運転中の冷媒配管に素手で触れない。
●運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷ややけどになる恐れがあります。

運転停止後、すぐに電源を切らない。
●必ず5分以上待ってください。
水濡れや故障の原因になることがあります。

1. 部品の確認　（この箱の中には、本説明書と下記部品が入っています。）

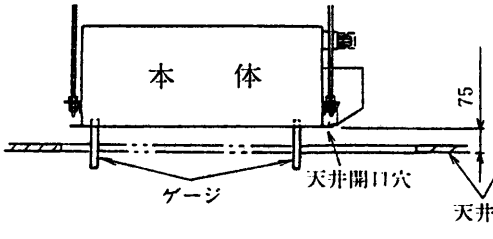
品番	品　　名	個数	フルフラットパネル
①	化　粧　パ　ネ　ル	1	
②	本体の位置調整用ゲージ	1	
③	化粧パネル固定用座付ネジ	4	 M5×0.8×30
④	化粧パネル固定用座付ネジ （J45形は無し）	2	 M5×0.8×20
⑤	ス　ペ　ー　サ	J80形以下 8 J112形以上 10	 J80形以下 厚さ3mm、6mm各4枚 J112形以上 厚さ3mm、6mm各5枚

2. 本体の位置確認

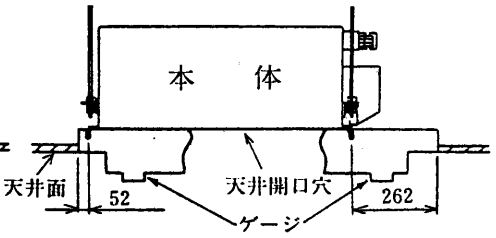
本体と天井開口穴との位置関係が下図のようになっている事を付属のゲージ②を使って確認してください。
（位置が異なりますと風もれによる露たれ等の原因になりますので、必ずチェックしてください。）

★ゲージ②の使い方

イ）本体水平度・短手位置確認



ロ）本体長手位置確認



3. 本体の準備

付属の化粧パネル固定用座付ネジ③2本を図2のように取付けてください。（化粧パネル仮固定用）

※取付位置が異なりますと、化粧パネル仮固定が不可能となり再作業となりますので注意願います。

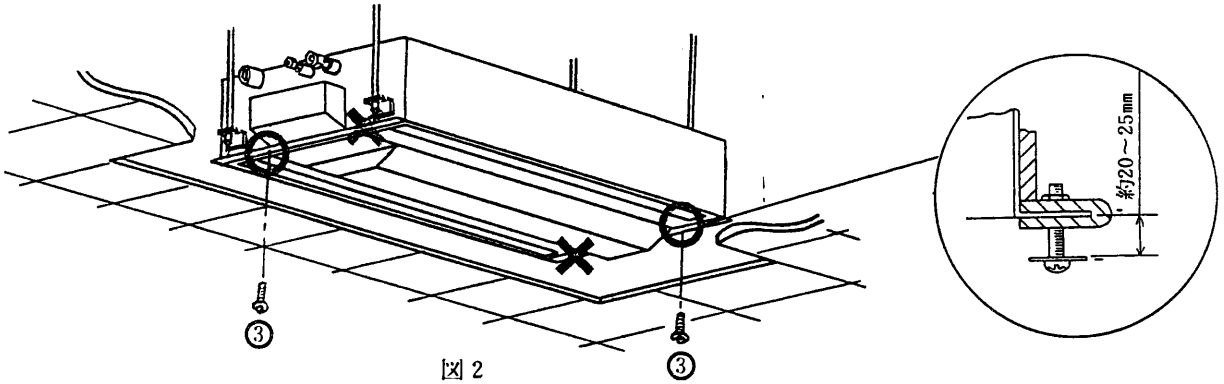


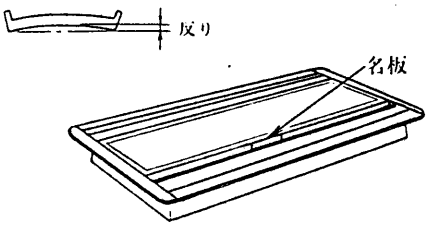
図2

三菱電機株式会社

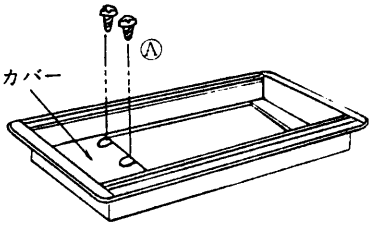
4. 化粧パネルの準備

イ）化粧パネルを梱包箱より取出してください。
- ●輸送保護用に入っているスチロールは全て取り除いてください。

ロ）吸込パネルを外してください。
- ●吸込パネルの側面に貼付してあります名板の説明に従って取り外してください。
- ●J160形は据付時に水平となるよう予め反りがありますが異常ではありません。



ハ）止めネジⒶ(2本)を外しカバーを取り外してください。



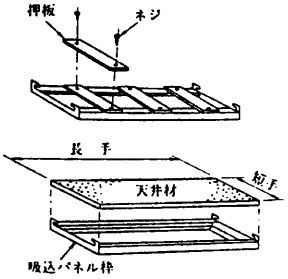
ニ）吸込パネルに天井材(現地調達)をハメ込み、固定してください。

ニ－1）押板を外します。

※押板枚数
- J80形以下……4枚
- J112形以上……5枚

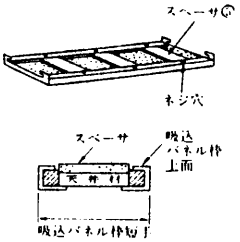
ニ－2）吸込パネル枠内に天井材をハメ込みます。

※ 天井材サイズ
15mm以下の厚さのものを使用してください。

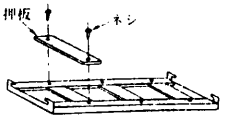


	長手	短手
J45形	913$^{0}_{-3}$	311$^{0}_{-3}$
J80形	1163$^{0}_{-3}$	
J112形	1413$^{0}_{-3}$	
J160形	1663$^{0}_{-3}$	

ニ－3）天井材の固定をしてください。
- ●天井材裏面に付属のスペーサ⑤を貼付してください。(天井材移動防止)
- ●スペーサは3mm厚と6mm厚のものが付属されていますので天井材裏面と吸込パネル枠上面が面一あるいはスペーサが飛び出す程度になるようスペーサを選択しネジ穴間に貼付します。
- ●上記のものでも厚さが確保できない場合には現地でベニヤ板等を調達願います。



ニ－4）押板をネジ締めしてください。
- ●押板の固定位置、枚数は使用される天井材の分割位置等により決定してください。



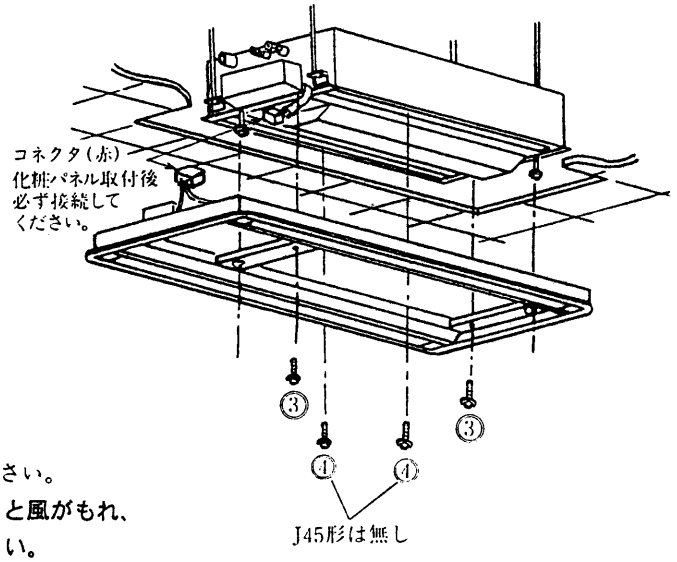
5. 化粧パネルの取付

イ）化粧パネルの仮固定

イ-1）本体側コネクタと化粧パネル側コネクタの位置が合うようにして化粧パネルを持ち上げてください。

イ-2）本体側の化粧パネル固定用座付ネジ③と化粧パネル側のダルマ穴の大径穴を合わせてください。

イ-3）化粧パネル固定用座付ネジ③がダルマ穴の大径穴を貫通した後、化粧パネル固定用座付ネジ③がダルマ穴小径穴にくるよう化粧パネルをスライドしてください。



ロ）本締め

ロ-1）付属の化粧パネル固定用座付ネジ③2本(J45形の場合)／③2本と④2本(J80～J160形の場合)を使用してしっかり締め付けてください。

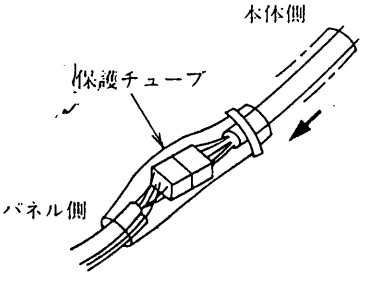
ロ-2）仮固定時使用した化粧パネル固定用座付ネジ(2本)もしっかり締め付けてください。

- ●化粧パネルは、天井目地と平行になるよう調整してください。
- **●本体と化粧パネル、化粧パネルと天井面に隙間が生じると風がもれ、露たれ等の原因になりますので必ずチェックしてください。**

6. 配線

イ）本体側と化粧パネル側のコネクタ(赤)を接続してください。
- **●接続しませんと、上下の風向調整用オートベーンが作動せず、リモコンに上下風向の表示もされませんので注意願います。**

ロ）コネクタ接続後、本体側リード線の保護チューブを右図のようにコネクタ部を覆うようにスライドして取付てください。



7. 吸込パネル・カバーの取付

- ●取付方法は「4.化粧パネルの準備」の項を逆に作業してください。